

令和5年度「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

学校名	三日月小学校 児童数 710人	担当者名	小池 麻友
住所	郵便番号 845-0021 佐賀県小城市三日月町長神田 1680	電話番号	0952-73-2950

◆ご提出いただいた個人情報は、本事業のためのみに使用し、それ以外の目的に使用することはありません。なお、県における個人情報の取扱については、佐賀県個人情報保護方針 (<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00319144/index.html>) に定めています。

I.取組前の宣言内容

宣言	目標	読書！笑顔！三日月サイコー！ ～本でつなぐ三日月の絆～
	取組期間	令和5年 4月 7日 ～ 令和5年 11月 30日

※令和5年4月1日以降、各学校が取組みを始めた日から、令和5年11月30日までの取組みとする。

II.取組後の評価

評価	取組人数	710人	実施日数	134日	読書冊数	61,348冊	連携した団体数	2団体
	取組内容（概要）	<p>1. 宣言目標「読書！笑顔！三日月サイコー！～本でつなぐ三日月の絆～」</p> <p>2. 継続している取組</p>						
	工夫したこと	<p>三日月小学校は学校目標を「元気！笑顔！三日月サイコー！」とし、大規模校の良さを生かしながら、ともに誇れる学校づくりに励んでいる。読書チャレンジでも、読書で笑顔の輪を広げ、本で友だちや地域と繋がることで三日月サイコーを目指した。</p> <p>1. 宣言目標「読書！笑顔！三日月サイコー！～本でつなぐ三日月の絆～」</p> <p>（1）図書委員と全校児童とのつながり</p> <p>6年生で構成される図書委員は下級生の憧れである。そんな図書委員と児童のつながりを深めることで、図書館をより身近な場所へとできるよう様々な取組を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書委員のおすすめの本を、顔写真を付けて図書室に掲示することで、図書室や図書委員への関心を高めた。【①】 ・ 〈本クイズ〉秋の図書館祭りでは、図書委員が選んだ本から出題される本クイズを行った。低・中・高に分かれて、1日だけのイベントだったが、クイズをきっかけに、読書の幅の広がりにつながった【②】 ・ 〈しおりコンクール〉全校児童に、オリジナルしおりを募集し、図書委員が審査を行った。募集して集まったしおりは全てラミネートをかけてプレゼントしたことで、コンクール後も児童がオリジナルしおりを使っている姿が見られた。【③】 <p>（2）児童同士のつながり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 〈貼り絵チャレンジ〉あじさい祭りでは、各クラスに大きな貼り絵の用紙を掲示。各クラスの児童が借りた本の冊数の色紙を持ち寄って貼り、クラスのみならず協力して、絵の完成を目指した。完成した貼り絵は全学年、図書室に掲示し、学年ごとに投票で順位を決定した。【①】 ・ 〈読書運動会〉学年対抗で一番貸出し冊数の多い学年を競い合う読書運動会を行 						

	<p>った。1位から3位に入賞した学年には賞状を作成し、表彰を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 〈本ランキング〉全校児童に好きな本を1冊選んでもらい、図書委員が集計を行った。低学年と高学年に分かれ、それぞれに人気投票の上位にランクインした本をまとめた「すきな本ベスト5」を全校児童に披露をした。【③】 ・ 〈他学年との交流〉国語科の学習とリンクさせ、4年生が1年生におすすめの本を紹介した。紹介した本は、1年生の教室に展示したことで、気軽に本を手にとることができた。【④】 ・ 〈教科間の連携〉1年生国語科「いろいろなふね」や3年生総合的な学習の時間「みんなにやさしい町づくり」などの調べ学習では、各学年の廊下に学習の課題に沿った本コーナーを設置した。【⑤】 <p>(3) 教職員とのつながり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 〈先生おすすめの本〉新しく三日月小学校に赴任した教職員にアンケート依頼し、ブックレビューを作成して、図書館に展示した。【①】 <p>2. 継続している取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年を通して、一人100冊運動を行っている。100冊以上本を借りると、貸出しカードがゴールドへと変わり、一人一人にプラス貸出券もプレゼントされる。【①】 ・ 自動車図書館「本丸くん」(小城市民図書館三日月館)による貸出<月1回>【②】 ・ 「ムーンブック」(地域の方々の読み聞かせボランティア)による朝の読み聞かせ。<各学期に各クラス1回ずつ。今年度は年間12回>【③】 ・ 秋の図書館祭りのイベントの1つとして、低・中・高に分かれ、小城市立図書館による読み聞かせを行った。【③】 ・ 佐賀県庁まなび課から配布された『読書ノート(ライブラリー・スタート・パスポート)』の活用。夏休み前に全校児童へ配布し、夏休みの読書を記録。【⑤】
<p>取り組んだ感想</p>	<p>図書委員の仕事は多岐にわたり、休み時間の活動も多い。日々の役割をこなしながら、どうしたらみんなの足が図書室に向かうかを懸命に考え、年に二回の図書館祭りのイベント企画を行った。イベントが終わると、「もう少し計画的に準備を進めなければいけなかった。」「自分が担当していない曜日にも、手伝いのため図書室に向かった。」という感想があがった。反省を生かして、次の活動をよりよくしようとする図書委員の姿に、成長を感じた。図書委員の懸命な活躍もあって、図書館祭りがある6月、11月は特に本の貸出し冊数が増加していた。昨年度に比べ、4月から11月までの貸出し冊数は減少していたが、その要因の一つとして、昨年度と校時が変わり、中休みが20分から15分に、昼休みが45分から30分に短縮されたことが考えられる。</p>
<p>これまでの取組や今後の取組予定</p>	<p>今年度は、貸出し冊数こそ増加しなかったものの、「スクール読書チャレンジ運動」をきっかけに、子どもたちの意識が変わってきていることを実感している。これまでの取組の反省や気づきを今後を生かしていきながら、「人と人とのつながりを大切にしたい読書活動」を今後も推奨していきたい。</p>

1. 宣言目標「読書！笑顔！三日月サイコー！～本でつなぐ三日月の絆～」

(1) 図書委員と全校児童のつながり

① 図書委員おすすめの本

図書委員のおすすめの本を、顔写真をつけて図書室に掲示することで、図書室や図書委員への関心を高めた。掲示物を見て、「この6年生がおすすめしている本を借りよう!」「この本わたしも好き!」などと話をする児童の姿が見られた。



② 本クイズ

秋の図書館祭りでは、図書委員が選んだ本から出題される本クイズを行った。低・中・高に分かれて、1日だけのイベントだったが、クイズをきっかけに、普段手に取らない本を読んだり、「今度借りてみよう!」という声も上がったりするなど、読書の幅の広がりにつながった。

正解したチームには、プラス1冊貸出券のプレゼント!



③ しおりコンクール

全校児童に、オリジナルしおりを募集し、図書委員が審査を行った。「かっこいいで賞」「かわいいで賞」などさまざまな視点からしおりの良いところを見つけ、できるだけ多くの児童に賞を与えられるよう工夫して表彰した。また、募集して集まったしおりは全てラミネートをかけてプレゼントしたことで、コンクール後も児童がオリジナルしおりを使っている姿が見られた。



(2) 児童同士のつながり

① 貼り絵チャレンジ

あじさい祭りでは、各クラスに大きな貼り絵の用紙を掲示。各クラスの児童が借りた本の冊数の色紙を持ち寄って貼り、クラスみんなで協力して、絵の完成を目指した。「貼り絵を完成させたい!」という気持ちから、積極的に図書館に足を運ぶ児童が増加した。完成した貼り絵は全学年、図書室に掲示し、学年ごとに投票で順位を決定した。



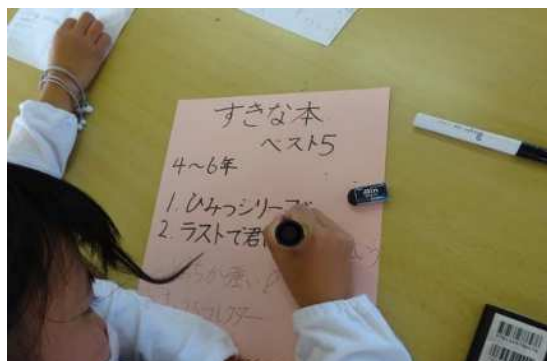
1冊につき、1枚の色紙がもらえます。

② 読書運動会

赤・黄・白・青の4つの団に分かれて競い合った運動会。秋の図書館祭りでは、色対抗ではなく、学年対抗で一番貸出し冊数の多い学年を競い合う読書運動会を行った。1位から3位に入賞した学年には賞状を作成し、表彰を行った。

③ 本ランキング

秋の図書館祭りでは、本ランキングを作成した。全校児童に好きな本を1冊選んでもらい、図書委員が集計を行った。低学年と高学年に分かれ、それぞれに人気投票の上位にランクインした本をまとめた「好きな本ベスト5」を児童玄関前に掲示し、全児童に披露をした。



④ 学年間の交流

国語科の学習とリンクさせ、4年生が1年生におすすめの本を紹介した。4年生は1年生がどんな本が好きなのか考えて本選びを行い、1年生にも分かる言葉で、分かりやすく本の面白さや見所などを紹介することができた。本の紹介を受けて1年生からは「読んでみたくなった。」「面白かった。」などの感想が挙げられた。また、紹介した本は、1年生の教室に展示したことで、気軽に本を手にとることができた。



⑤ 教科間の連携

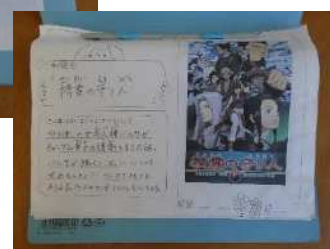
1年生国語科「いろいろなふね」や3年生総合的な学習の時間「みんなにやさしい町づくり」などの調べ学習では、各学年の廊下に学習の課題に沿った本コーナーを設置した。



(3) 教職員とのつながり

⑥ 先生おすすめの本紹介

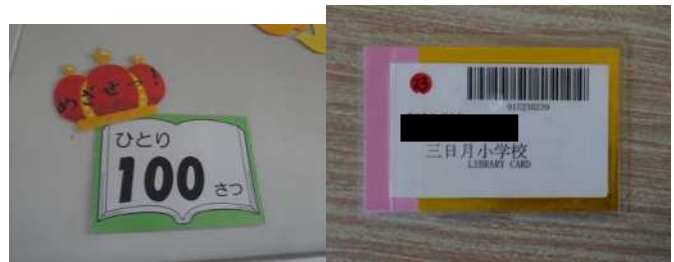
新しい担任やクラスメイトの出会いの季節である4月には、図書委員が新しく三日月小学校に来られた教職員にアンケート依頼し、ブックレビューを作成して、図書館に展示した。図書館を訪れた児童は、「〇〇先生の好きな本が載っている!」「この本知っている!」と話を弾ませていた。



(4) 継続している取組

① 一人100冊運動

100冊以上本を借りると、貸出しカードがゴールドへと変わる。子どもたちは、カードをゴールドに変えることをモチベーションに、本を積極的に借りている。100冊達成すると、一人一人にプラス貸出券もプレゼントされる。



② 本丸くんの日

1ヶ月ごとに巡回してくる自動車図書館「本丸くん」の日を、子どもたちは心待ちにしている。



③ 「ムーンブック」による読み聞かせ
地域の方々の読み聞かせボランティアによる朝の読み聞かせを行っている。



④ 小城市立図書館による読み聞かせ

秋の図書館祭りのイベントの1つとして、低・中・高に分かれ、小城市立図書館による読み聞かせを行った。



⑤ 「うちどくノート」で親子読書
小城市立図書館から配布される「うちどくノート」の活用。

